



赤堀消防長から感謝状を受け取る山本さん（写真左）

サーファーの勇敢な行動を称える**■感謝状贈呈式／御前崎消防署**

御前崎消防署（赤堀浩久消防長）は9月18日、御前崎消防署にて、波津地区在住の会社員山本淳一さんに感謝状と記念品を贈呈しました。

8月18日、相良港（坂井平田地区）付近で磯遊びをしていた4歳男児が乗ったゴムボートが沖合にまで流されました。付近でサーフィンをしていた山本さんが無事にこの男児を救出しました。

山本さんは、「普通のことをしただけ。周囲に自分しかいなかったため、とっさの判断だった」と当時の様子などを話してくれました。

「御船」を勇壮に練る**■国指定重要無形民俗文化財「大江八幡宮御船神事」**

大江八幡宮御船神事は9月18日、大江地区で執り行われました。

この神事は、江戸時代の相良湊の回船業者が海上安全や商売繁盛を祈願したのが起源とされており、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

浴衣姿の「船若」（ふなわら）と呼ばれる青年らが練り歌に合わせて、2メートルほどもある菱垣回船と樽回船の模型船「御船」を荒々しく担ぎながら、威勢のよい掛け声とともに同地区を力強く練り歩きました。



晴天の下、4人1組で御船を担ぐ船若ら

保育や介護を身をもって学ぶ**■相良高校生体験実習／相良幼稚園**

県立相良高等学校の1年生は9月28日、市内の各幼稚園や保育園、介護施設において、「保育・介護実習」を体験しました。

これは、高校生が命の尊さや子育ての意義を学び、介護や福祉、少子高齢化社会の課題に対する認識を深めるために毎年実施されているものです。

相良幼稚園では、生徒26人が園児145人と運動会の練習やボール遊びなどで触れ合いました。

生徒らは、「子どもたちと遊ぶことで元気をもらえる」と嬉しそうに話してくれました。



保護者役となり、園児らと一緒に運動会の練習をする高校生

**秋晴れの下、海岸清掃活動に汗を流す参加者たち****■バイク愛好者が地球へ恩返し
■ラブ・ジ・アースミーティング17th**

Love the Earth実行委員会主催の「ラブ・ジ・アースミーティング17th」が9月23日、地頭方海浜公園で開催されました。

これは、バイク乗りのモラル向上と地球環境保護を目的とした活動の一環で、今回で通算17回目を迎え、本市での開催は5回目となります。

県内外のバイク愛好者や地元住民など約800人が参加し、約1時間半、海岸清掃を行いました。

会場では、国内バイクメーカーによる新型バイクの展示やステージイベントなども開かれました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎ (23) 0052 ☐ seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

**実りの秋を自らの手で収穫****■稲刈り／地頭方小学校**

地頭方小学校の5年生45人は9月8日、同校近くの学校田で、地元のボランティア団体「未広会」（増田三千夫代表）の会員15人の指導のもと、稲刈りを実施しました。

稲作体験学習「田んぼの学校」の一環で、児童らは、塩水で良質な種もみを選ぶ4月の「塩水選」から約4ヶ月間にわたり、丹精込めて育てた黄金色の稲穂を収穫しました。

初めて体験した児童も多く、鎌を使っての稲刈りに苦戦しながら、「自分たちが一生懸命育てた稲が立派に実って嬉しい」と喜んでいました。

収穫した米は脱穀後に行われるもちつき、稻わらは正月飾り作成に使用する予定です。



鎌の扱いに注意しながら、稲を刈り取る児童ら

伝統文化を通じて交流**■中国人高校生との交流／榛原高等学校**

県立榛原高等学校は9月13日、中国からの高校生訪問団を受け入れました。

これは、国の青少年交流事業「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、異国間の高校生同士がホームステイなどにより相互理解や友好交流、信頼関係を深めるものです。訪問団は北京市、湖南省の高校生26人と引率者、通訳ら計30人。

高校生らは身ぶり手ぶりを交えて、英語で自己紹介をするなど、笑顔で会話を交わし、その後の部活動体験でも互いに交流を楽しみました。



榛原高校の生徒に教わりながら日本語を書く中国人高校生



イガに注意しながら、クリを取り出す園児ら

秋の味覚をたくさん拾ったよ**■栗拾い／菅山保育園**

菅山保育園の5・6歳児26人は9月7日、相良油田観光くり園で栗拾いを行いました。

これは、10日の開園に先立ち、地元の園児たちに楽しんでもらうために実施されたものです。

園児らは、熟れて地面に落ちた光沢のある大粒の実を見つけると、歓声を上げて、イガを足で踏みつけたり、火挟みを使ったりして器用に取り出し、次々と袋の中に拾い集めました。

収穫したクリは、後日、給食でくりご飯にして味わいました。